

2011年9月6日

横浜ゴムの長野工場、無災害記録 700 万時間を達成

横浜ゴム（株）の長野工場（長野県下伊那郡高森町）が、死亡災害、休業1日以上災害発生ゼロの無災害記録延べ700万時間（平成7年2月15日から平成23年4月20日）を達成し、9月5日、厚生労働省から無災害記録証を授与された。

厚生労働省労働基準局長は一定の無災害記録を樹立した事業場に対し、無災害記録証を授与している。無災害記録には第1種から第5種まであり、起算年月日、業種、労働者数によって記録時間が異なっている。今回長野工場は「一般機械器具製造業」の業種で第3種無災害記録証を授与された。

長野工場は油空圧配管用金属継ぎ手の加工・組立を行っており、従業員数は210名（8月末現在）。安全衛生を強化するため、OSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）をベースとしたリスクアセスメントによる危険の先取り・設備の本質安全化、過重労働の防止、メンタルヘルスケアなどに力を注いでいる。なお、2001年8月に第1種（270万時間）、2005年7月に第2種（410万時間）の無災害記録を達成している。



労働省飯田労働基準監督署長より授与された無災害記録証と前沢昇長野工場長

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下
TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570